

平成25年度

単位施策評価表

所属 28100000
建設水道部 道路課

施策	2101 都市基盤の充実							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	有	成果向上の余地	有		
対象	市民							
単位施策目的	「市都市計画マスタープラン」に基づく適切な土地利用の推進、主要道路の整備推進、鉄道駅周辺の利用環境の充実等を図る。							
成果指標	幹線市道の改良率							
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [%]	予定	83.80	84.60	85.10	85.40	85.80	
		実績	84.30					
	成果指標2 []	予定						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標3 []	予定						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標4 []	予定						
実績								
単位コスト								
トータルコスト (千円)	予定	706,848		0	0	0		
	実績	884,164			0	0		
内部評価	貢献度	上位施策の目標指標「道路の整備・保全に対する市民満足度」を向上させるためには都市基盤としての幹線道路の整備が重要であり本単位施策の目標達成による貢献度は高い。						
	達成状況	主要事業については全て達成率が100%となった。その他の事業についても計画どおり整備が出来たことから「幹線市道の改良率」が目標値を上回った。						
	課題	新規事業を見送ったこと、また一部の事業を繰越したことから未達の事業が出た。事業計画の見直しと更なる関係権利者の理解と協力を得ることが必要である。						
	取組方針	関係権利者の理解と協力を得るため、事業の必要性について十分な事前説明を行い計画的な事業推進を図る。						
外部評価	本施策の目標は達成となっておりますが、幹線道路整備において数年にかけて工事が行われることにより細切れ感がある。工事に着手したのなら早期に全線開通できるような事業展開を希望する。 未利用の市有地（旧市役所・旧中央小・警察署跡地等）について活用方針がまるで見えてこない。市の考え、方向性を市民に示すべきである。							
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称					トータルコスト(千円)	達成度
	400201	道路台帳整備委託費					88,436	100
	400301	道路課一般経常事務費					7,797	100
	400302	都市整備課一般経常事務費（大平）					1,189	100
	400303	都市建設課一般経常事務費（藤岡）					3,253	100
	400304	都市建設課一般経常事務費（都賀）					2,106	100
	400305	産業建設課一般経常事務費（西方）					2,242	100
	404001	市道209号線道路改良事業費（栃木平井町）					21,266	100
	404501	市道102号線道路改良事業費（栃木今泉町1丁目）					29,802	100
	407403	市道F6号線道路改良事業費（藤岡富吉1区）					33,579	100
409402	市道O-205号線道路改良事業費（大平下皆川）					18,865	100	



様式 1

栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	080203	事業コード	407403	事業区分	02 政策的事業	新規/その他	2	その他		基本施策		単位施策	
事業名	市道F6号線道路改良事業費(藤岡富吉1区)														
担当部署	藤岡総合支 藤岡都建課 都市建設担当 道路整備チーム														
係担当者	田中 修														
事業の性質	2 自治事務 根拠法令等 道陥法														
事業の概要	<p>(事業終了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、経(向)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手続の記入) 市道F6号線(藤岡富吉~盛沼)を道陥ネットワークを道路ネットワークとアクセス性の向上を図るため延伸し、用地買収・道路改良工事等により新設する。</p> <p>L=1,880m W=10.0m A=21,000㎡</p> <p>【主要事業】</p>														
達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)の目標) 道陥ネットワークとアクセス性の向上及び安全で快適な通行を確保する。														
事業期間	H18~H29 年度														
全体事業費(千円)	600,000														

単位:千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算算以
国庫支出金	0	0
県支出金	0	0
地方債	11,400	29,000
その他財源	0	0
一般財源	1,348	3,379
事業費 a	12,748	32,379
人件費 b	1,200	1,200
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c	13,948	33,579
結果指標 1	12.14	17.54
結果指標 2	0.00	0.00

事業費 指標の推移	事業の内容	その成果
	<p>【事業の内容】 市道F6号線整備にあたり用地取得を実施する。</p> <p>【成果】 地権者 8名 17筆 2,472㎡</p>	<p>【事業の内容】 市道F6号線整備にあたり用地取得を実施する。</p> <p>【成果】 地権者 24名 28筆 5,940㎡ 物件補償 3件(立竹木補償)</p>
業務の事後評価	妥当性	妥当
	コスト削減の余地	有
受益者負担	妥当	適正
	上位貢献度	有効
類似事業の有無	無	無
	成果向上の余地	有

(改善内容とその効果を具体的に記入)

平成25年度末の用地取得率は42%であり、平成26年度以降も積極的に用地取得を推し進めるとともに、平成29年度の事業完成を目指す。

事業費コストの削減 再生資源の活用による建設コストの削減により計画的に道路改良工事を実施する。

事後評価者

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	080203	予算コード	493803	事業区分	02 政策的事業	新規/その他	2	その他		基本施策	単位施策
事業名	藤岡駅前広場整備事業費												
担当課	藤岡総合支 藤岡都建課 都市建設チーム												
係担当チーム名	自治事務 根拠法令等 都市計画法												
事業の性質	2 自治事務												
事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、誰(何)を、どう方法で、どうしたいのか、対象、手段の記入) 駅利用者の利便性を高めるため駅前広場の整備推進を図る。 A=2,000㎡</p> <p>【主要事業】</p>												
達成目標	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)の目標) 快適に利用できる駅前広場を整備する。</p>												
成果指標	<p>幹線市道の改良率・・・5年間(平成25年度～平成29年度)で85.8%(現状値83.3%)</p>												

単位：千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	0	0
県支出金	0	0
地方債	0	0
その他財源	0	0
一般財源	433	433
事業費 a	433	433
人件費 b	7,500	7,500
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c	7,933	7,933
結果指標 1	0.10	0.10
結果指標 2		

事業の内容	平成24年度	平成25年度
その成果		藤岡駅東まちづくり研究会との調整 市関係各課との協議 権利調査

指標名	算出方法	単位
事業進捗率	累積事業費÷全体事業費×100	%
結果指標 1	0.1	
結果指標 2		

事業の事後評価	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有
---------	-----	----	----------	---	-------	----	-------	----	---------	---	---------	---

(改善内容とその効果を具体的に記入)
 藤岡駅東まちづくり研究会と連携を図り、円滑な事業推進に務める。

事業

様式1

栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	080403	予算コード	493901	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策	単位施策
事業名	今泉川線道路整備事業費(栃木今泉町1・2丁目・日ノ出町)												
担当部署	建設水道部 道路課 道路整備担当												
係担当チーム名	2 自治事務 根拠法令等 都市計画法、道路法												
事業の性質	2 自治事務 根拠法令等 都市計画法、道路法												
事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までの、誰(向)を、どういう方法で、どうしたいのか、対象、手続の記入)</p> <p>日ノ出町及び今泉町1・2丁目地内の都市計画道路今泉川線を、用地買収・改築工事により新設する。</p> <p>・道路改築工事 L=950.0m W=24.0~16.0m</p> <p>・用地取得 約13,500㎡</p> <p>・物件補償 建物17棟、他工作物等</p> <p>【主要事業】</p>												
達成目標	<p>・市域幹線道路小山坂本都道線との連携により東西軸の幹線道路を整備し、道路ネットワークの確保及び市有地形放を図る。</p> <p>・鉄道との交差道路を立体化することにより、安全で円滑な道路交通環境を確保する。</p>												
事業期間	H25～H32年度												
全体事業費(人件費除)	1,730,000千円												

達成目標	成果目標	達成率
幹線市道の改良率・・・5年間(平成25年度～平成29年度)で85.8%(現状値83.3%)		

事業費	平成24年度	平成25年度
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	8,600	
その他特財	0	
一般財源	1,008	
事業費 a	9,608	
人件費 b		
減価償却費 c	1,500	
総事業費 a+b+c	11,108	
結果指標 1	0.00	
結果指標 2	0.56	

事業の内容	業務委託 ①地形測量 A=1.2ha ②水準測量 L=8.5km 鉄道事業者協議 立体交差部の事前協議1回								
その成果									
指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
道路整備延長	道路整備延長	m	累積整備延長 H25目標数値:0m	妥当	有	適正	有効	無	有
事業進捗率	事業進捗率	%	累積事業費÷全体事業費×100 H25目標数値:0.56%	妥当	有	適正	有効	無	有

(改善内容とその効果を具体的に記入)

1. 事業費コストの削減
 ①用地取得に伴い移転の必要な補償費削減を意図した計画線の検討および決定
 ②再生資源の活用による建設コストの削減
 ③時間管理のコスト削減

2. 事業地取得に要する期間短縮→円滑な移転ができるような方策の検討

事業改善計画	
事後評価備考	

